

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 オーストラリア国立大学
	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 2月 25日 ～ 2019年 11月 30日 出国日 2019年 2月 14日 最終帰国日 2019年 12月 11日

留学の状況について、各項目について書いてください。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 「学習院大学海外留学奨学金」の主な支出内容と金額の内訳

まずは今使っているパソコンが古くなってしまい調子も悪いみたいなので、新しく買い替えようと考えております。そこから余ったお金は留学費を出して頂いた保護者に返そうと思います。

(2) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

今まで海外の大学での長期的な留学をした事がなかった自分にとって今回の留学はかなり刺激になりました。これまで二つの報告書で3つの目標を掲げ、留學生活を送ってきました。勿論自分が納得できるくらい達成できたものもあれば、出来なかったものもありました。しかし、誰も助けてくれない中、自分でなんとかしないといけないという環境のおかげで、少し自立する事という事に関しては自分を少し評価したいと思います。学習院に居た頃は、近くに保護者や友人がいたので、困った時は直ぐに助けを求める事が出来ました。ですが、留学先では知り合いが誰一人いなかったのも、自分でなんとかしないとイケませんでした。そういった意味で、誰に依存するのではなく、自分でなんとかするという事を意識するようになったと思います。

(3) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

これをもっと前に準備しておけば良かったと思った事は特にはありませんでした。先方の大学に滞在していた日本人の先生、正規の日本人生徒の支援もあって、生活面、語学面においても正直なんとかなりました。私も初めは不安だと思った事は何度かありましたが、段々と慣れて行きました。強いて言うならば、日本でしか買えない（日本で処方される）薬は幾つか

持っていくことをお勧めします。私自身、アレルギー性鼻炎の薬を忘れてしまい、少し困りました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

以前提出した二つのレポートでも記述しましたが、授業はレクチャーとチュートリアルのものでカリキュラムが構成されています。レクチャーでは日本の大学と同様に教授が教壇に立ち、大勢の生徒の前で二時間にわたり講義をします。それに対し、チュートリアルでは少人数の学生で講義の内容に関して具体的に議論し、先生がそれをサポートするような形になっております。更に、オーストラリア国立大学には録音システムがあり、授業に出る事が出来なかった生徒の為に講義の録音を授業後に聞く事が出来ました。日本の大学と比べて学習している内容はかなり難しく感じました。それは語学的な難しさだけではなく、内容もかなり深く掘り下げていたので、ついていくのに苦労しました。しかし、そこで分からない事はオフィスアワーの時間で教授に直接質問しに行くことで私の学習を助けてくれました。彼らは質問しに行けば、きちんと分かりやすく説明してくれます。更に自分が留学生だと明かしたら、時間をかけてもっと分かるように説明してくれます。それもあって落としそうになった科目の単位を取得することが出来ました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

ANUのキャンパスは、かなり広いです。人によりますが、自転車で通学している生徒も何人かいる程なので、初め大学に来た時は、まず教室の場所を確認しないと行けなかったくらい校舎が遠くにあたりました。その反面、自然に囲まれたキャンパスでもあるので、のびのび過ごす事ができます。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

そのような補修講座はANUにはありませんでした。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

現地には日本人の先生や正規の日本人の学生が居ましたので、彼らに現地の生活について分からない事は聞きました。イベントはJapan clubという日本人の学生団体が主催しており、困った時はイベントとかに参加して助けを求めた事もあります。更に、そのイベントで知り合った正規の学生に食材を調達してもらったり、色んな観光地に連れて行ってもらったりしました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特になし

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

基本的に一年生活してきましたが、殺人、強盗などの事件は聞いた事がないので、キャンベラの治安は良いと思います。しかし、自転車の盗難事件が結構あったそうなので、自転車の購入を考えている方は、頭に入れておいた方がいいです。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

現地で分からない事があれば、必ず自分から積極的に聞きに行くのがどれ程大切か身に沁みました。日本はおもてなしを大切にする文化があるので、1から10まで結構面倒を見てくれたりします。確かに向こうの大学でも留学生を手厚く歓迎はしてくれますが、自分の事は自分でするのが基本なので1から10まで教えてはくれませんが、よって分からない事は自分から聞きに行くのが手っ取り早いです。特に留学のシステムは複雑なので、私も何度もメールで質問を送った記憶があります。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
International economics	
Regression model	
Career planning and Management	
Consumer behavior	
Organizational behavior	
Service marketing	
Behavior economics	
World economy since 1800	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

寮の名前 : Bruce hall Packard wing

タイプ : 一人部屋、キッチン、トイレ、シャワー付き

(2) 宿舎の探し方

大学の斡旋 / 自分で探した / その他 ()

⇒自分で探した / その他の場合のその方法と良かった点・悪かった点

(3) 家賃

月額 (現地通貨) 約 1200 ドル、(日本円) 約 9万 6000 円(為替が 1 ドル = 80 円の場合)

(4) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

徒歩30分圏内にアジアンショップとオーストラリアのスーパーマーケットがあるので、そこで食材を調達し、部屋についているキッチンで料理しました。

(5) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他()、計 20 分

※授業によって行く校舎が変わってきますので、上記の時間は平均です。

(6) 感想、良かった点・悪かった点

私自身、大勢で賑わうよりも一人にいる方が落ち着くので、個人的にはいい寮でした。良かった点ですが、他の寮よりも部屋が広くのびのびと生活できました。悪かった点は人によりませんが、国際交流を積極的にしたい方であれば交流が少ない事です。Packard は大学院生用の寮なので、勉強に集中したい人が多く住んでいます。よって、イベントは本館 (Bruce Hall) よりもかなり少ないです。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

※協定留学の為、先方の大学に学費は払っておりません。

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他()、(日本円) 約 68,878.4 円

カンタス航空を利用しました。

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 875 ドル、(日本円) 約 7 万円 1 ドル=80 円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

オーストラリアではキャッシュレス化がかなり進んでおりますので、基本的にレストラン、お店などでの支払いはクレジットカードもしくは銀行で発行したデビットカードでします。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動火災保険会社

(2) 保険料

108440 円

(3) 加入した保険の種類、内容

傷害死亡

傷害後遺障害

治療・救援費用

疾病死亡
航空機寄託手荷物遅延等
航空機遅延費用

(4) 感想、良かった点・悪かった点

保険を使う機会がなかったので、感想は特にはありません。しかし保険があるのとないのでは心の持ち方が変わって来ますので、私としては加入して良かったと思います。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

市販の薬

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

特になし

(4) 持って行けば良かったと思う物

基本的に生活とかで足りないものは現地で調達できます。ですが、日本でしか手に入らない薬は持参するようにしておきましょう。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

基本的に授業があるので、それに参加していました。しかし、学習院にいた時よりも科目数は少なかったもので、残った時間は授業で課された課題をこなすか洗濯、掃除、料理など家事をこなしていました。余裕があれば、知り合いと一緒に外へ食べに行ったり、寮のイベントに参加したりしました。

(2) 週末

週末は市街に出て、生活で足りないものを買に行ったり、寮もしくはオーストラリア国立大学の日本人コミュニティーが主催しているイベントに参加してみたりしていました。長期休暇の時は、シドニー、メルボルンなどの都市に観光に行ったり、知り合いの日本人学生に一週間程度ですが他の海外の学生と共同生活している家に泊まらせてもらい、共に生活する事で交流したりしました。

8. 後輩へのアドバイス等

必要であれば、銀行の口座を作っておきましょう。お金に困った時に、日本から送金してもらえたりして便利なのでお勧めします。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。